

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和05年06月05日

計画の名称	姫路市における循環のみち実現に向けた安全・防災対策(3)(防災・安全)											
計画の期間	令和02年度～令和06年度(5年間)										重点配分対象の該当	
交付対象	姫路市											
計画の目標	計画的に老朽施設の改築・更新を進めるとともに、地震対策及び浸水対策を実施することにより、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な水環境を創造する。											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	21,557	A	21,557	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2当初	R4末	R6末
1	老朽施設のうち、令和2年度から令和6年度に改築・更新する7施設( (処理場)中部、東部、家島、上菅・筋野、(前処理場)高木川西、(ポンプ場)書写、西広畑)について、改築対応率を0.0%(R2)から100.0%(R6)に増加させる。 老朽施設の改築対応率 改築対応済み施設の数(施設) / R2年以降、5年間に改築が必要となる施設の数(施設)	0%	50%	100%
2	老朽管渠の管更生工事実施延長を9.9km(R2)から15.9km(R6)に増加させる。 老朽管渠の管更生工事実施済延長 管更生工事実施済み累計延長(km)	99(×0.1km)	129(×0.1km)	159(×0.1km)
3	耐震対策施設のうち、令和2年度から令和6年度に対策を実施する7施設( (処理場)中部、東部、家島、上菅・筋野、(前処理場)高木川西、(ポンプ場)書写、西広畑)について、耐震対応率を0.0%(R2)から100.0%(R6)に増加させる。 施設の耐震対応率 耐震対応済み施設の数(施設) / R2年以降、5年間に耐震対策を実施する施設の数(施設)	0%	50%	100%

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	<input type="radio"/>	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	-----------------------	----------	-----------------------	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------



A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-007	下水道	一般	姫路市	直接	個人	管渠(雨水)	新設	雨水浸透ます設置助成事業	浸透ます設置	姫路市						3	-	
	A07-008	下水道	一般	姫路市	直接	姫路市	管渠(污水)	改築	ストックマネジメント計画策定事業	ストックマネジメント計画策定・点検調査	姫路市						600	策定済	
											小計						21,557		
											合計						21,557		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R02	R03	R04		
配分額 (a)	1,292	949	785		
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	1,292	949	785		
前年度からの繰越額 (d)	0	822	790		
支払済額 (e)	470	980	809		
翌年度繰越額 (f)	822	791	766		
うち未契約繰越額(g)	97	190	429		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	7.5	10.72	27.23		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由		関係機関との調整に時間を要したため。	関係機関との調整に時間を要したため。		

## 事前評価チェックシート

計画の名称： 姫路市における循環のみち実現に向けた安全・防災対策（3）（防災・安全）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性 1) 上位計画（流総計画、都市計画、公害防止計画等）との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性 2) 下水道の諸計画（流域下水道事業計画、公共下水道事業計画、ストックマネジメント計画等）との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性 3) 関連する諸計画（総合計画、生活排水処理計画等）との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえて目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 2) 必要性という観点から事業内容、整備箇所の位置づけが高い。	○
II. 計画の効果・効率性 整備計画の効果及び効率性 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性 1) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性 1) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性 2) 目標及び事業内容と計画区域等との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 2) 関連する関係機関等の調整が、図られている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運 1) 事業実施に向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運 2) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○

(参考図面)

